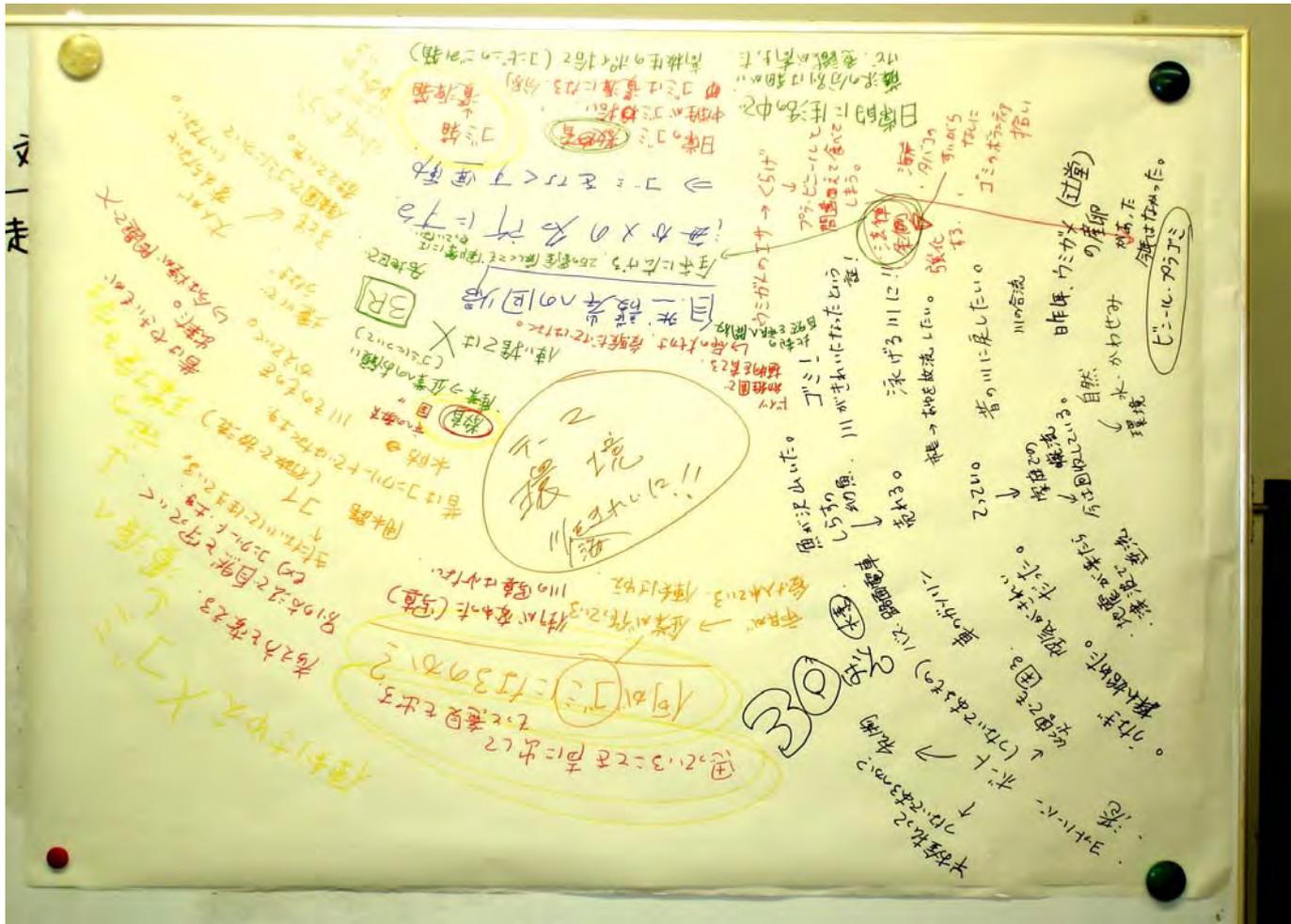


藤沢市地域経営戦略 100 人委員会  
(第2回)  
活動の報告

- ・ 30 年後の藤沢らしさ (まとめシートより)
- ・ 地区・領域別に話し合われたことのまとめ
- ・ 活動の様子 (写真)
- ・ 活動の記録 (模造紙)







32

良しい一歩  
悪い一歩

人材育成

農業  
漁業

観光  
教育

行政が「大の

国・県・市  
北部地区の土地を有効に活用  
企業を誘致、農業に活用  
多くの人が集る様に  
魅力がある観光都市に

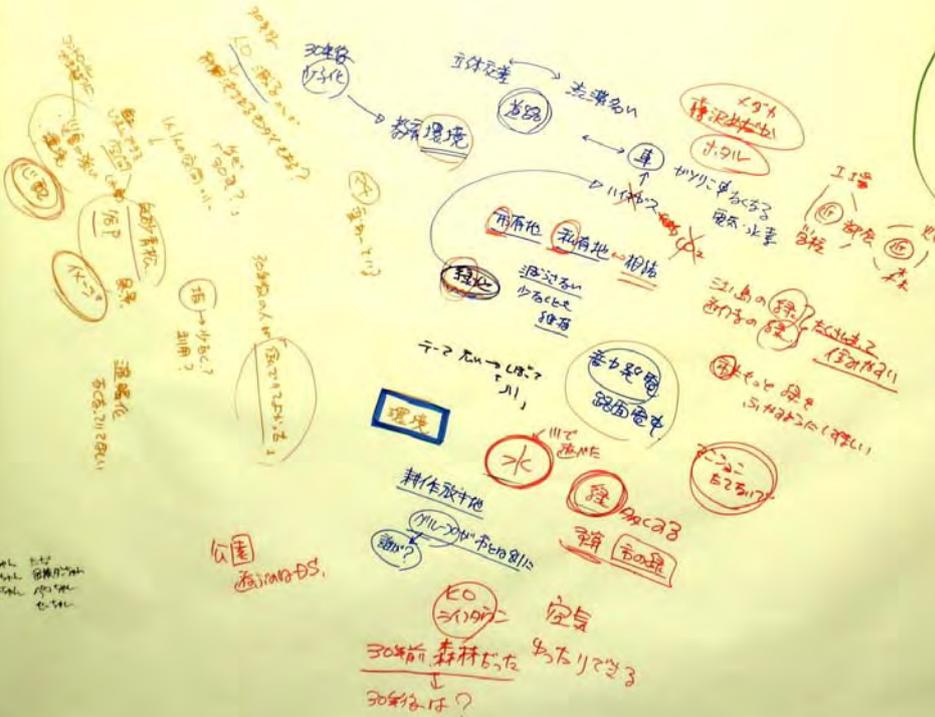
# 残したいもの

- ・きれいな海
- ・自然
- ・松並木(海岸)
- ・景観
- ・人を受け入れる力
- ・SFC (ベンチャー)
- ・歴史的建物
- ・江島 (遊行寺)
- ・湘南ブランド (イメージ)
- ・江ノ電
- ・有力企業 (イー、日立)

砂浜  
本物の湘南ブランド

33

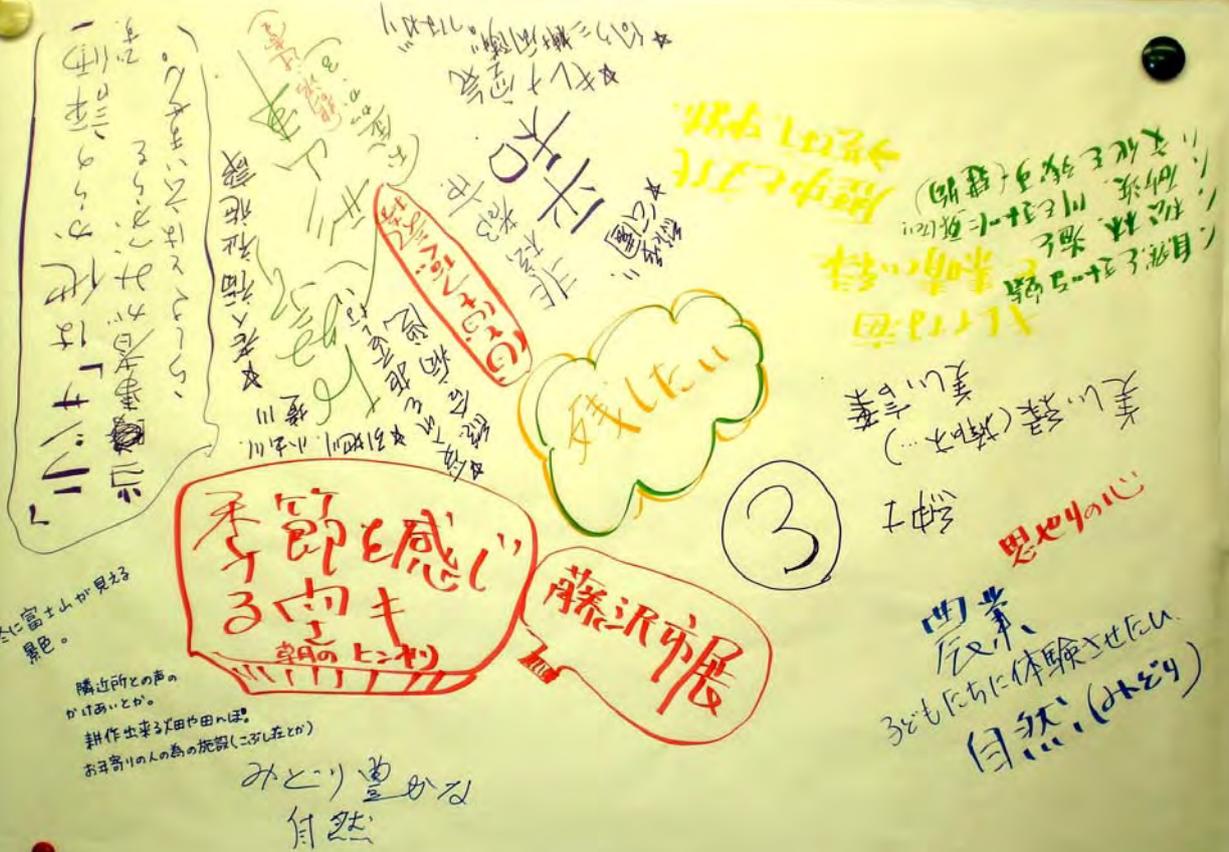
# 環境



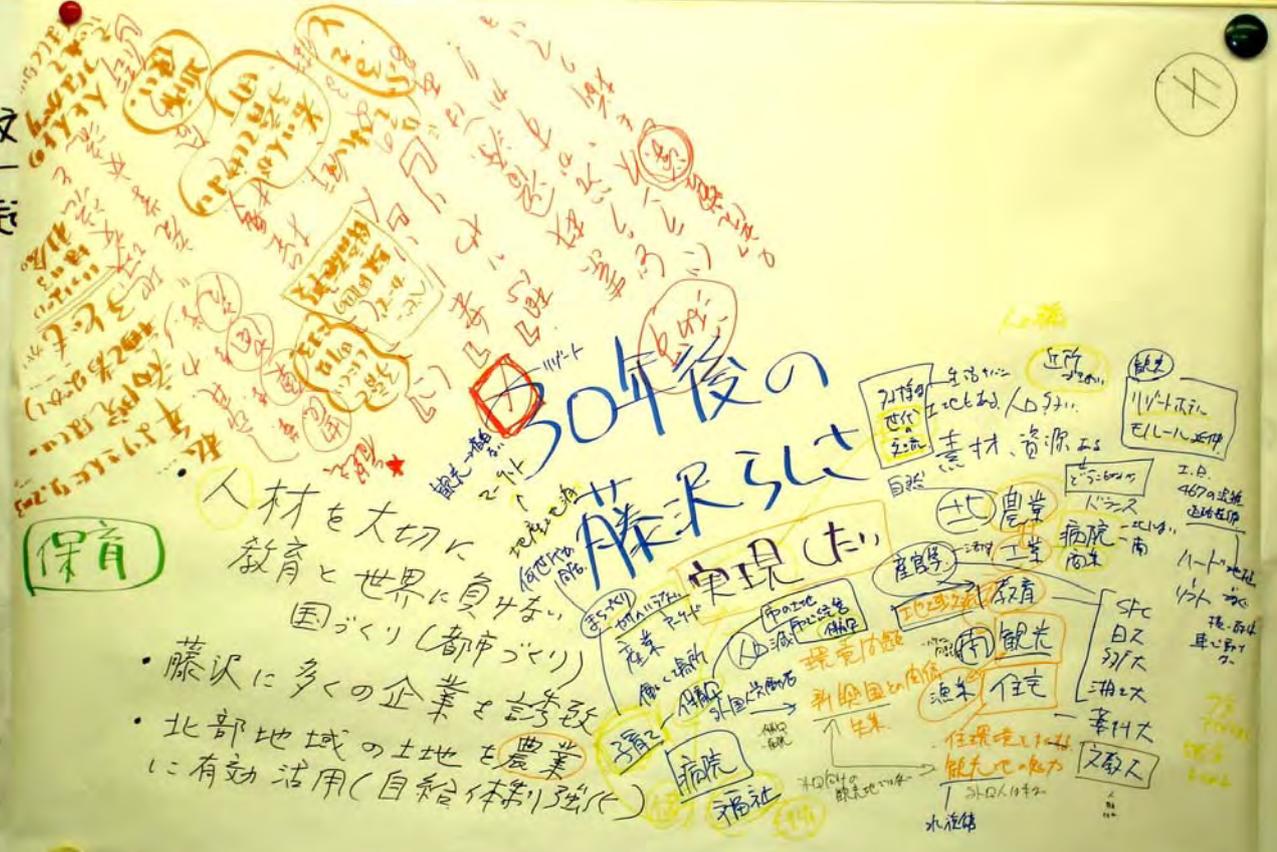




文一  
起



文一  
走





課題 (環境対策) と 藤沢らしさ

(2-1)

A. 環境対策

1. 藤沢市の水環境 (境川、引地川、湘南の海):  
BOD (生物化学的酸素要求量) 基準を以下と指標とするのみ  
は十分。透明度、動植物生態の今昔比較 (枚貝、ツツハシゴ)  
カサノエ池と対策
2. 丁原藤沢南地工の街路環境:  
パブリック・スペース・カラオケの軒が並ぶ景色が「ツツハシ」  
広さは木直民地都市と分化した。せよ。  
建築協定基準をもつ地元の対比で「鬼ヶ原」  
との「ツツハシ」は如何?  
建築基準と市改正を見直すべきではないか?
3. 道路渋滞:  
467号線慢性渋滞解消の決り手か?  
横浜・藤沢線工事は何故遅延続いたのか?  
全長3kmに及ぶ工事区間を2分して、先ず1.8km  
(川名~467号境川橋) を工事し先行して、その後1.2km  
(467号境川橋~134号若島沼橋) に着行は案は  
地域住民の反応も強く、対策として長期計画 (5~7年)  
を策定して3kmを看果しよと云々な実行には如何?
4. 市街地の樹木  
現状、街路樹 (陽樹と陰分解帯樹) ノンテラスは糸の  
刈込に終始している。  
ヒトツバノミ対策上「沢木並みの木の大樹化」(新藤原町等)  
や夏場の枯死対策は自治体、家庭水道水  
頼みではよかろうか?

文  
起

B 歴史遺産と生かす藤沢らしさ

(2-2)

1. 博物館準備室と新員、貯蔵庫の遺跡文化財、文献を  
開示する (解説冊) 常設館建設の上、丁原観光に資する。
2. 江の島入口には「ビビエ」を設け、果敢外の観光客が中心の  
充実をはかり共に溢滞難 (特選系) 対策として「ドラゴン」  
シフトを実行する。
3. カブ大庭の歴史を守るため、全域を観光の絶好の高所であった  
大庭の歴史の城址は桜林給の地蔵堂に「金」の眺望を  
欠いてはいる。中心樹木は保存維持に加え、周辺の代探して、カブの  
おりに藤沢市全域を眺望の View-Point に育たせ、観光拠点  
とする。
4. 「遊行金踊り」が盛んになり、年周を境にして往時の念仏踊りから  
派生する現代調舞踊×2-振付付からユガ、ヌトツチまで、  
リフレンド、ヌトツチ取舞、体カの上を活発化する。

09/09/20  
(名古屋 藤原)

文  
起